

「廃炉の力になれば」

札幌 チェルノブイリデーに署名



署名する女性と訴える畠山氏（左端）＝26日、札幌市

泊原発は再稼働せず、直ちに廃炉にと原発問題全道連絡会と国民大運動北海道実行委員会は26日昼、札幌市でチェルノブイリデー宣伝行動をくり広げました。

「なくそうとめよう原発」泊原発を再稼働させない」のぼりが風でなびく中「泊原発を再稼働させない署名です」と声をかけヒラを配りました。49歳の女性は「原発をなくしたい。地震の時、泊原発は大丈夫なのか不安でした。地震は止めることができな

いけれど、事前にできることはするべきです」と話します。姉が福島に住んでいるという女性（63）は「土の除染作業をしたと言っていました。姉は孫娘の将来を心配しています。少しでも原発廃炉の力になれば」とサインしました。「原発には反対です」というのは前田久美子さん（62）。「電気は原発じゃなくても発電できます。電気も大事だけれど、人の命のほうがもっと大事です」と語りました。道労連の三上友衛議長、日本共産党の畠山和也前衆院議員がマイクを握り訴えました。